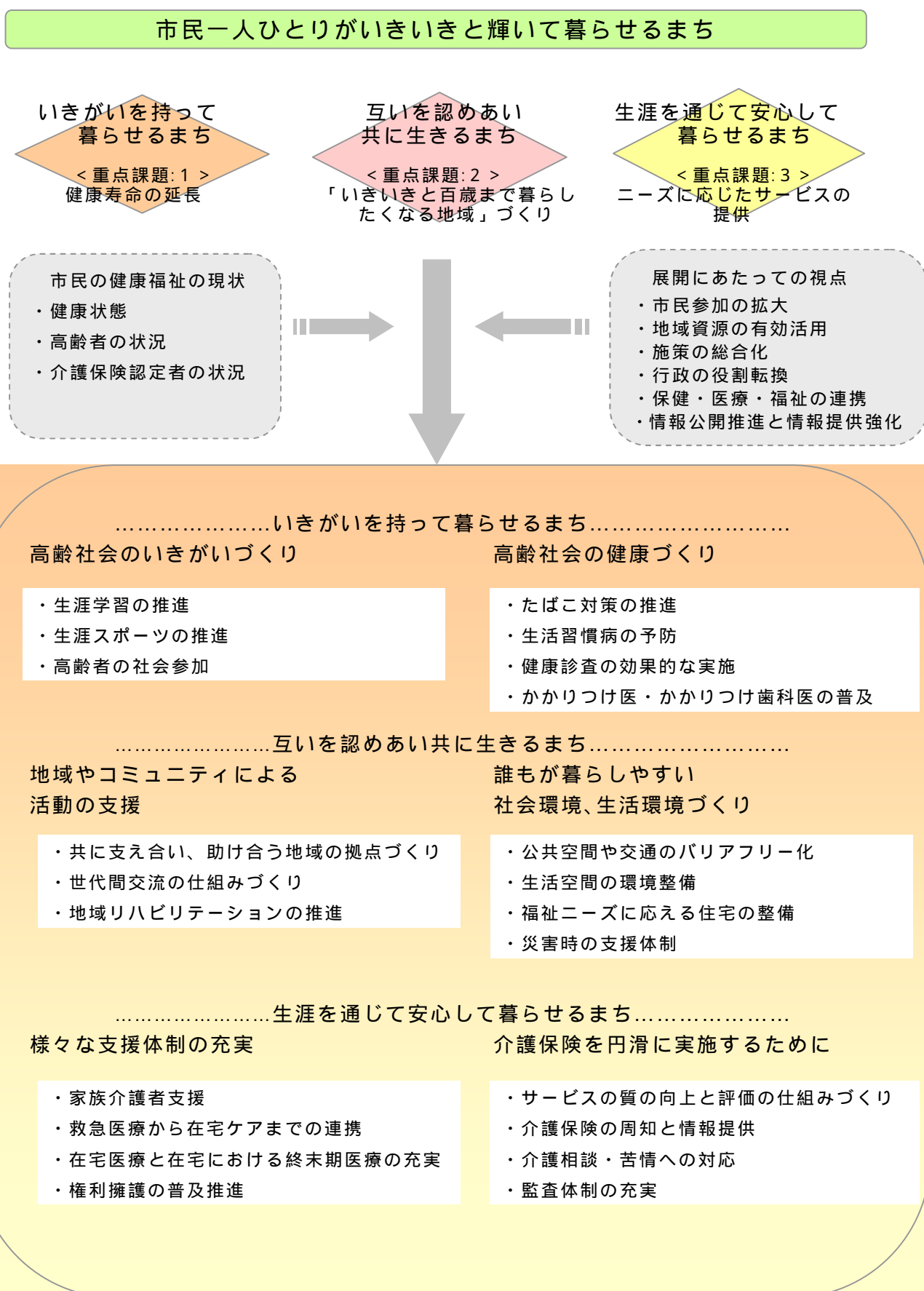


## 本論



## 計画の概要





## **第 1 章 基本概念**

# 第1章 基本理念

## 1 1. これからの保健福祉のありかた

### 1 1 1. 新しい時代の「健康」

“身体のだこにも悪いところがない”だけでなく不安がない。病気や障害があっても、そうでなくてもいきがいを持っていきいきと暮らせる。

障害があっても慢性の病気があっても、誰かの支えがあったり、また自分の工夫で自立した生活ができる。

自分の価値観を持ち、社会のなかで安定して暮らせる。

つまり、心身だけでなく、生き方を含めた健康。

**人が人として幸せに生きることが“健康”**というふうに。

そんな考え方でまちづくり、健康づくりを進める時代でもあります。

### 1 1 2. 新しい時代の「福祉」

これからの福祉のあり方は一方通行ではなく、だれもが自立してお互いを大切にできるような、暮らしの質を高め皆が幸せな社会に導くことです。

そのためにはこれまで、ともすれば**一部の特別な人々を助けるための「特別な福祉」**という**固定観念を変えること**、誰もが着ている肌着の様に温かく身近なものにすることが必要です。

市民の積極的な参画による豊かな「福祉の文化」の土壌を作り上げていくことが大切になります。

### 1 1 3. 健康福祉文化の創造

健康福祉文化を実現するためには、健康や福祉をだれもが**自分の日々の暮らしの問題として受けとめ、自らが創る**という市民の主体者としての意識が必要です。

そのために住民と行政が協働して、本市の健康福祉文化を築きあげていくことを目指します。

1 2 . 高知市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の基本理念

1 2 1 . 基本理念

市民一人ひとりがいきいきと輝いて暮らせるまちづくり

「輝いて生きたい」「生活や人生の質を高めたい」という市民の欲求を充足させることができるコミュニティを市民が主体となって形成し、一人ひとりが安心して、健康で充実した生活を送ることができる健康福祉文化のまちづくりを進めていきます。

1 2 2 . 本市の目指す健康福祉文化のまち

いきがいを持っていきいきと暮らすことのできるまち

年をとっても元気であり続け、長年培ってきた知恵や、技能を生かしながら、いきがいを持って社会に参画している。こんなまちを本市では目指します。

誰もがお互いを認めあい共に生きていくことができるまち

年をとっても障害を持って、市民みんながお互いを認めあい、分け隔てなく共に生きていくことができるまち。こんなまちを本市では目指します。

生涯を通じて安心して暮らすことのできるまち

高齢期を豊かで安心できるものとするためには、必要なときに適切な支援が受けられるように、幅広い選択肢を持ったサービス提供ができる体制の整備が必要です。本市ではこのような体制の充実したまちを目指します。

